

New Sports Power ⑨
〈ビーチで生まれた新競技〉

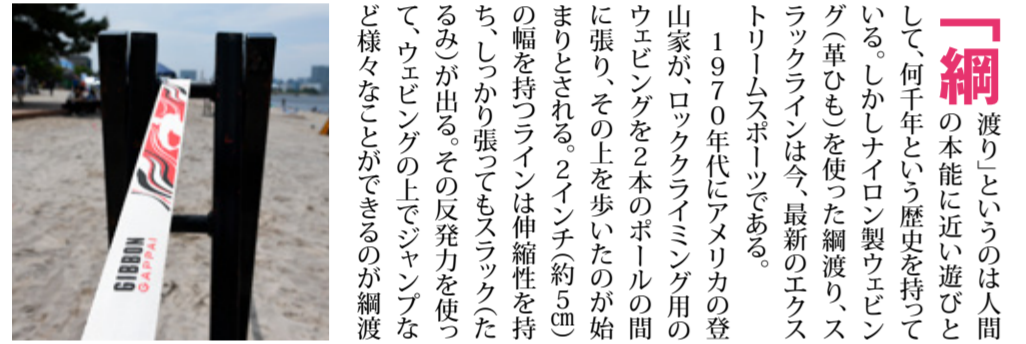
文/小崎仁久

スラックライン
SLACK LINE

5cm幅の細いウェビングから生み出される幅の広いスポーツ



上：2013年ワールドカップで優勝した大杉徹さん。体幹、バランス感覚を鍛えるエクササイズとしても遊び感覚で楽しめる
下：ナイロン製約5cm幅のウェビング。反発力を利用する競技



「網」渡りというのは人間の本能に近い遊びとして、何千年という歴史を持っている。しかしナイロン製ウェビング（革ひも）を使った網渡り、スラックラインは今、最新のエクササイズスポーツである。

1970年代にアメリカの登山家が、ロッククライミング用のウェビングを2本のポールの間に張り、その上を歩いたのが始まりとされる。2インチ（約5cm）の幅を持つラインは伸縮性を持ち、しっかりと張つてもスラックたるとみが出る。その反発力を使ってウェビングの上でジャンプなど様々なことができるのが網渡りとの違い。

2007年にドイツでラチェットシステムが開発され、誰もがどこでも楽しめることが可能になり、世界中に一気に広がった。人気のジャンル「トリックライン」はラインの上で宙返りやスピンなどのトリックを行い、難易度を争う採点競技だ。

ほかにも、歩くラインの高さを競う「ハイライン」、長さを競う「ロングライン」など様々な楽しみ方があり、世界中には300万人以上の愛好家がいる。バックパックを背負った、1000mの高さのハイラインを歩いたり、2kmものロングラインを渡るなど、このスポーツはエクストリーム性が高い。しかしそれだけではなくライン上での三方や、体幹、バランス感覚を鍛えるエクササイズ、ダイエットにも有効である。わずか5cm幅の細いウェビングから生み出されるスラックラインは、幅の広いスポーツなのである。

みんなの手をつなぎ、日本中の海を守っていきこう



森里川海の接点をつなぎ、自然を守っていく



朝日 そういふ過程を経て2019年6月9日に全線が開通したわけですね。ヒトが集まってくれば、支える側も誇りになり地域が活性化していく。潮の香りがする企画ですので、ぜひビーチ文化の視点で一緒に進んでいきたいですね。

鳥居 この1000キロに渡るトレイルには、97カ所の海岸があるんですよ。なかでも、八戸市の種差海岸には2キロに渡る砂浜が広がっています。

森本 トレイルにも多様なビーチがあります。歩く以外にもいろいろ楽しむ活動の事例があればいいですね。

鳥居 いくつかの地域では、草を刈るなど進歩をより歩きやすくする整備を市民参加で行うイベントを企画しています。

朝日 ゴミ拾いを競技化する「スポゴミ」（スポーツゴミ拾い）はどうでしょうか。また海辺の図書館、Tシャツの思いを込めるメッセージアート展も海辺の空間を気持ちよく満喫できると思います。

鳥居 とてもいいですね。それであれば、お子さんから高齢者まで誰でも気軽に参加できるイベントになりそうですね。

朝日 はい、あと、地図を見て

気づいたのは、「〇〇海水浴場」という名称が多いこと。そうなるに「夏だけのイメージが先行してしまっているので、どうして海から足を遠のけてしまおうか」という感覚になってきました。

朝日 近年、大雨や台風などの水害が多く発生し、我々は気候変動に長期的なスケールで対応していかないとはいけません。今後、鍵となるのは、環境省が取り組んでいる「森里川海プロジェクト」※3ではないでしょうか。我々も海辺にかかわる以上は、そこは敏感になつていかないとはいけません。

鳥居 日本は国土の7割が森林ですが、外国から木材を多く輸入しています。そうではなく、

いた道のりは、実は歩いた方々のほうが勇気づけられた、という感慨深い声もあっています。

朝日 近年、大雨や台風などの水害が多く発生し、我々は気候変動に長期的なスケールで対応していかないとはいけません。今後、鍵となるのは、環境省が取り組んでいる「森里川海プロジェクト」※3ではないでしょうか。我々も海辺にかかわる以上は、そこは敏感になつていかないとはいけません。

鳥居 日本は国土の7割が森林ですが、外国から木材を多く輸入しています。そうではなく、

足元の自然資源に目を向けて、地域の経済をまわしていこうというのがプロジェクトのねらいです。人口が減少し少子高齢化を迎える中、都市だけではなく地方がしっかりと生きていかないと日本は活性化していかないとはいけません。I T社会が発達していき、自然が豊かなところでも都会のオフィスと同じように仕事ができ、ライフスタイルが変わっていくことが予想されます。そう言う意味でも、足元の資源を見直していかなくては、大きな課題を抱えています。海水温が上がってサンゴも育たず、秋

足元の資源を見直していくことは重要



刀魚、鮭、イカなどが不漁でなかなか食べられない。食べられる魚種が限られてきてしまっているのが現状です。それは海産物だけではなく、農産物にも同じことが言えます。地域の多様性が失われていることに我々は危機を感じなければいけないのです。森本 生き物を育てる機能が低下してしまっているですね。復活させる鍵は、海と陸、山がつながっているのだと認識することです。話の冒頭に上げた島山さんの活動にもあるように、川が運ぶ森の養分が海産物の餌となるプランクトンを育てているのです。陸と海の接点、境目にある浄化機能を大切にしたい。それが私たちの使命だと思っています。

朝日 我々もこれまで海辺の文化の発展に焦点を当てて考えて

陸の発展がなければ、海辺の発展につながらない



きましたが、森里川海プロジェクトのお話を聞いて、陸の発展がなければ、海辺の発展につながらない、という意識が高まりました。

鳥居 海は森は森ではなく、つながりを意識して考えていくことが必要ですね。例えば駿河湾は山から海底深くまで、山と海の幸に恵まれています。しかも、近頃は桜エビがとれないと言われています。

朝日 そういふ意味では、自然と共生したみちのく潮風トレイルもある1000キロから日本一周にしたいですね。

森本 いいですね。みんなで手をつなぎ、日本中の海を守っていきましょう。

朝日 今回の意見交換はとてもいい気づきとなりました。お二方、ありがとうございました。

※1 自然とともに歩む復興策である「グリーン復興プロジェクト」の取り組みのひとつで、青森県八戸市から福島県相馬市松川浦までの沿岸約1000kmをつないだロングトレイル（長距離自然歩道）のこと。4県28市町村、地域の里道や生活道を1本の道でつなぎ、地域の自然環境を暮らし、震災の痕跡、利用者や地域の人々を結び道を目標としている。

※2 トレイル沿線にあるルート情報、宿泊、食事などの施設情報など発信するサポートセンター。名取トレイルセンターを統括本部とし、北から種差海岸インフォメーションセンター、北山崎ビジターセンター、浄土ヶ浜ビジターセンター、碓石海岸インフォメーションセンター、南三陸・海のビジターセンターが歩く人々と地域をつなぐ役割を果たしている。

※3 2014年に環境省が立ち上げた地域の循環と共生を支えるプロジェクト。森、里、川、海の恵みを引き出し、地域の人々が自然の恵みを支える社会を目標としている。

4県28市町村をつなぐ
ロングトレイル

青森県	八戸市 階上町
岩手県	洋野町 久慈市 野田村 野田村 普代村 田野畑村 岩泉町 宮古市 山田町 大槌町 釜石市 大船渡市 陸前高田市
宮城県	気仙沼市 南三陸町 石巻市 女川町 東松島市 塩竈市 多賀城市 仙台市 名取市 岩沼市 亶理町 山元町 新地町 相馬市
福島県	南三陸町 石巻市 東松島市 仙台市 多賀城市 名取市 岩沼市 亶理町 山元町 新地町 相馬市



みちのく
潮風トレイル
ダイジェストMAP



美しい景観として知られる種差天然芝生地

豊かな自然と食に包まれた街

青森県八戸市は、漁業が盛んで豊かな食と自然に包まれた街です。八戸漁港はイカやサバなどの水揚げ量が全国トップクラス。日本の白砂青松100選に入っている種差海岸は、まるで緑色のじゅうたんのような天然芝生地のほか、ウミネコの群れや海浜植物など多彩な海の自然を感じることができ、種差海岸には「みちのく潮風トレイル」の情報発信拠点であるインフォメーションセンターも設置されており、地元の方と訪れた方の接点となる役割を果たしています。



八戸前沖銀サバトロつけ丼
冷たい海で脂肪を蓄えた大型のサバが漁獲されるのは八戸ならではの、脂のつったサバの身は肉厚で口中に旨味が広がります。それをタイレクトに味わせるのは、全国どこでも選り手権でグランプリを獲得した「八戸前沖銀サバトロつけ丼」日本一脂のついていると評されるサバをご堪能ください。

おらが街の味、銀サバ

おらが街の
ビーチ自慢
～ここはいいトコ、一度はおいで～



日本最大と言われる館鼻海岸朝市

地域DATA

- 人口 228,159人 (10月31日現在)
- 代表ビーチ 白浜海水浴場
- 観光名所 白浜海水浴場、種差天然芝生地、館鼻海岸朝市
- 名産 サバ、イカ
- 宿泊施設 約55施設

杉並区永福

日本・東京都



元プロビーチバレーボールプレーヤー！朝日健太郎が各地の砂を踏んで触つて「砂ソムリエ」にふさわしい砂を選ぶ「砂ソムリエ」は、足跡の数で評価する。足跡3つが最高の「ホワイトアアシ」を上げるのは、都会の「ホワイトアアシ」、杉並区永福体育館ビーチコート砂。

統合により閉校となった小学校の跡地を利用して、杉並区ではビーチコートが採択され、ホワイトアアシを使用する空間が整備された。計画から関わらせて頂いたが、砂ソムリエの私として進言したのは「現にも角にも、砂にこだわってほしい。この価値は、砂質をすべてが決まるといってもいい。かなりの研究をされ、すばらしい砂を準備して頂いたことに感謝を申し上げたい。私がソムリエするまでもなく、こを利した子どもたちの表情を見れば、満足である。

杉並の閑静な住宅街に突如浮かび上がったホワイトアアシ。足の裏から伝わるメレンゲのような感触を、多くの方に味わってほしい。ソムリエとして、オアシス誕生の一翼を担えたこと大変満足している。

砂ソムリエ

第11回



朝日健太郎が目利きする